

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和7年 8 月 8 日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社 中田組
所 在 地	〒097-0021 北海道稚内市港2丁目8番30号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 中田 有介
担 当 者 連 絡 先	電 話：0162-22-5670
	メー ル：s-suzuki@nakata-fm.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.nakata-fm.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は明治30年に利尻で創業し、昭和44年に本社を稚内へ移転したあと今日に至るまで、主に稚内地域ならびに利尻・礼文の離島において、港湾の整備・水産基盤の構築に従事してきました。	
現在、船舶は21隻、重機は20台保有しており、2025年度はケーソン製作、港湾整備、浚渫、道路整備、砂防、水産魚礁ブロック製作などを主とし多種多様の工事を行っています。	
また、離島においては災害対応や冬期除雪も行っており、地域住民とは密接な関係を保ちながら建設業としての役割を全うし、離島振興にも寄与しているところです。	
今後もいろいろな工事のなかで自然環境を守りながらICT・DXへ取り組み、人手不足への対応、作業の省力化・自動化を推進することでSDGsを視野に入れた持続可能な社会の創出へ取り組んでいきます。	

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	建設工事において排出される温室効果ガス排出量を削減する	各工事現場で排出される温室効果ガス排出量 【現状】10%削減(2022年比) 【目標】20%削減(2022年比)
✓環境 ✓社会 □経済	植栽による地域貢献とみなとの花いっぱい環境整備	利尻沿道と港の工事現場を花いっぱいにする 【現状】2,200株植栽 【目標】2,500株植栽
□環境 ✓社会 ✓経済	事業継続計画(BCP)の推進	稚内・利尻合同訓練の実施 【現状】2回/年 【目標】4回/年(各年実施内容の充実を図る)

(次項へ続く)

(様式第2号)

企業・団体名(株式会社 中田組)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	2025年に新入社員4名(男2女2)が入社したことで専属の相談職員を配置し月1回のカンファレンスを実施している。WEBや講習会での新人教育を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	就業規則に「ハラスメント防止規程」を定め社員周知の徹底を図っている。安全大会で経営者、管理職を含む全社員で外部講師によるハラスメント教育を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	現場の完全週休2日制ならびに有給休暇の積極的取得に取り組んでいる。長時間労働については2024年度の残業時間を2022年度の半分に減少させた。								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している																
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	各現場については、毎週の巡視、月1回の安全パトロール、年2回の経営者パトロールを実施している。月1回の店社安全衛生委員会で労働環境整備に取り組んでいる。			3					8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	全社員を対象に「メンタルヘルス教育」ならびに「自己アンケート調査」を実施しメンタル管理に努めている。社内交流会も実施。			3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	「北海道働き方改革推進企業認定制度」を取得。「エイジーフレンドリー計画」を策定。女性や高齢者にやさしい建設現場の構築を目指している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	各種免許取得への助成、ならびに更新時講習への補助を行っている。新入社員の継続的WEB講座の受講、社内ガイダンスを行い計画的育成につとめている。			4	5.5				8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	同一労働同一賃金を重視し給与体系の見直しならびに賃金アップを実施している。キャリアアップシステムを導入。					5.5			8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	季節雇用から通年雇用への移行促進。全社員に対し「人間ドック」の全額助成を実施している。			3					8							
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	「健康経営優良法人認定制度」取得。外部講師によるセミナーの実施。各現場のゴミ分別の徹底とリサイクルの推進。再生コピー用紙の使用と両面使用。廃材削減、やり直し無駄削減、廃棄物発生抑制。紙ベース管理を電子データ管理へ移行。											11.6	12.4 12.5		14.1	
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	社内照明灯、現場事務所のLED化を実施している。							7.3						13		
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	照明灯のLED化を実施。電気冷蔵庫の使用個数を減少。暖房機器の適用温度を最小限にして使用。							7.2 7.3					12.4	13.3		

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	「科学物質リスクアセスメント」マニュアルにそって各現場でシート作成管理を実施し安全パトロー時にチェック点検を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4			
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	低騒音型機械を使用し周辺環境への配慮を徹底。防塵処理(養生)を徹底し粉じん飛散の防止を図る。海の工事は汚濁防止フェンスを設置し濁水流出を防止。						6.6								15	
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる																
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している																
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	自社ホームページで取組みを紹介(植栽等)。												12.6			
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	地域電力会社(自然エネルギー発電)の出資者でもあり再生可能エネルギーの利用推進に取り組んでいる。							7.2						13		
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	現場事務所に間伐材を使用した掲示板を使用。再生紙の積極的利用を図る骨材の再利用に努めている。												12.2	13	14	15
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	現場の使用資材は、提出された「品質証明書」を確認し発注者の了承を得たうえで、品質・安全を確保している。			3.9									12.4			
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	共通仕様書の管理基準より厳しい自社の管理基準を設けることで品質の精度を高めている。毎月開催の「工程会議」において各現場の品質管理の課題を整理している。									9						
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	現場では、極力、プレキャスト製品を使用することとし、防波堤工事においてもプレキャスト型枠で施工を行った。						6						12	13	14	15
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる																
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	大雨、大雪その他の異常気象時の情報収集と迅速な対応に務めている。現場周辺の住民には一軒一軒工事内容の説明と協力要請に努めている。				4					9		11	12		14	15
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	毎年、道立公園のボランティア清掃や海岸漂流物のクリーン作戦等に積極的に参加するとともに、島の沿道美化のための植栽を行っている。				4							11			14	15
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	下請業者や資材会社は地元企業を優先している。使用材料については北海道産・地元産を優先している。地域学生の工事現場見学などを積極的に受け入れている。								8	9		11	12	13		

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
【記載留意事項】 - 各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。 - 列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。) - 今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。 - なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 - 取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。																			